

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公開番号】特開2010-133920(P2010-133920A)

【公開日】平成22年6月17日(2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2009-65641(P2009-65641)

【国際特許分類】

G 01 N 35/10 (2006.01)

G 01 N 35/02 (2006.01)

【F I】

G 01 N 35/06 B

G 01 N 35/06 C

G 01 N 35/02 H

G 01 N 35/02 J

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

分析容器に収容された検体に含まれる成分の情報を検出するための検出部と、  
検出部によって検出された成分情報を分析するための分析部と、

分析に要する第一検体量の検体を定量して分析容器に供給し、検出部による成分情報の  
検出および分析部による成分情報の分析を実行する第一動作モードと、第一検体量よりも  
多い第二検体量の検体を留保容器に供給し、留保容器から第一検体量の検体を定量して分析  
容器に供給し、検出部による成分情報の検出および分析部による成分情報の分析を実行  
する第二動作モードと、を選択するための動作モード選択部と、

検体を収容した検体容器を搬送するための搬送部と、

第一検体量の検体を供給するための第一供給部と、

第二検体量の検体を供給するための第二供給部と、

動作モード選択部によって選択された動作モードに応じて第一および第二供給部を制御  
するための制御部と、を備える検体分析装置。

【請求項2】

制御部は、動作モード選択部によって第一動作モードが選択された場合、第一供給部に  
よって検体容器から第一検体量の検体を分析容器に供給し、第二動作モードが選択された  
場合、第二供給部によって検体容器から第二検体量の検体を留保容器に供給するように第一  
および第二供給部を制御する請求項1に記載の検体分析装置。

【請求項3】

制御部は、動作モード選択部によって第二動作モードが選択された場合、第二供給部に  
よって検体容器から第二検体量の検体を留保容器に分注し、第一供給部によって留保容器  
から第一検体量の検体を分析容器に供給するように第一および第二供給部を制御する請求  
項1または2に記載の検体分析装置。

【請求項4】

留保容器および分析容器は同一形状である請求項1～3のいずれか一項に記載の検体分

析装置。

【請求項 5】

第一供給部は、先端に平坦面が形成され、平坦面に液体吸引口を有する液体吸引管を備える請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の検体分析装置。

【請求項 6】

第二供給部は、検体容器の開口に装着された栓体を貫通可能に形成された液体吸引管を備える請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の検体分析装置。

【請求項 7】

動作モード選択部は、検体容器の開口に栓体が装着されていない場合には第一動作モードを選択し、検体容器の開口に栓体が装着されている場合には第二動作モードを選択する請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の検体分析装置。

【請求項 8】

動作モード選択部は、分析部の分析結果に応じて再検査が実行される検体が検体容器に収容されている場合には第二動作モードを選択する請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の検体分析装置。

【請求項 9】

第二検体量は複数回の分析に要する検体量である請求項 8 に記載の検体分析装置。

【請求項 10】

動作モード選択部は、検体容器に収容されている検体の量が所定量に満たない場合には第一動作モードを選択する請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の検体分析装置。

【請求項 11】

分析容器に収容された検体に含まれる成分の情報を検出するための検出部と、  
検出部によって検出された成分情報を分析するための分析部と、

分析に要する第一検体量の検体を定量して分析容器に供給し、検出部による成分情報の検出および分析部による成分情報の分析を実行する第一動作モードと、第一検体量よりも多い第二検体量の検体を留保容器に供給し、留保容器から第一検体量の検体を定量して分析容器に供給し、検出部による成分情報の検出および分析部による成分情報の分析を実行する第二動作モードと、を選択するための動作モード選択部と、  
検体を収容した検体容器を搬送するための搬送部と、

検体を収容した検体容器を設置するための緊急検体設置部と、

第一検体量の検体を供給するための第一供給部と、

第二検体量の検体を供給するための第二供給部と、

緊急検体設置部に検体容器が設置された場合、自動的に第一動作モードを選択し、第一供給部によって検体容器から第一検体量の検体を定量して分析容器に供給するよう第一供給部を制御し、搬送部によって供給位置に検体容器が搬送された場合、動作モード選択部によって選択された動作モードに応じて第一および第二供給部を制御するための制御部と、を備える検体分析装置。

【請求項 12】

検体を収容した検体容器を搬送する搬送工程と、  
第一動作モードと第二動作モードとを選択する動作モード選択工程と、

動作モード選択工程において第一動作モードが選択された場合には、第一供給部によって検体容器から分析に要する第一検体量の検体を定量して分析容器に供給し、第二動作モードが選択された場合には、第二供給部によって第一検体量よりも多い第二検体量の検体を留保容器に供給し、第一供給部によって留保容器から第一検体量の検体を定量して分析容器に供給する供給工程と、  
分析容器に収容された検体に含まれる成分の情報を検出する検出工程と、  
検出工程において検出された成分情報を分析する分析工程と、を備える検体分析方法。